

SDGs宣言書

墨田区長様

私たちは、持続可能なまちづくりに向け、下記のとおり、SDGsの推進に墨田区とともに取り組むことを宣言します。

< 宣言日・変更日 > 令和5年9月11日・令和6年3月27日

企業・団体名：株式会社分析センター  
 代表者 役職：代表取締役社長  
 氏名：佐藤 隆

記

事業者・団体等としての2030年までのあるべき姿	社業である環境計量証明事業および各種の工業製品に関する検査・分析事業を通じて、あらゆる有害廃棄物の削減事業を継続的に支援する。また、事業内においては、排水削減、有害試薬類の使用制限、ペーパーレス化の推進（電子式納品）、太陽光発電など再生可能エネルギーへの変換率を高めることでカーボンニュートラルを維持したラボ事業の実現。									
・ 関連するSDGsの目標すべてに○をご記入ください。（複数選択可）										
○									○	
○			○			○		○		
○										
・ ○を記入していただいたSDGs目標の達成に向け、すでに具体的に取り組んでいること、又はこれから取り組むことをご記入ください。										
ゴール6：ターゲット6.3を基盤に「排水と有害物質の廃棄物量を削減し、循環水の利用率をアップさせる」 ゴール7：ターゲット7.1を基盤に「燃料電池、水素エネルギーの開発企業を支援すると共に、再生可能エネルギー率をアップさせる」 ゴール9：ターゲット9.4を基盤に「各種の分析機器において自動化・省力化を推進し、資源利用効率をアップさせると共に、クリーン技術の向上を図る」 ゴール11：ターゲット11.6を基盤に「地域における大気汚染を監視すると共に、電気電子機器廃棄物のリサイクル率を持続可能にアップさせる」 ゴール12：ターゲット12.8を基盤に「事業に欠かせないあらゆる電気電子機器類の廃棄物に関し、リサイクル率を持続可能にアップさせる」 ゴール13：ターゲット13.3を基盤に「カーボンニュートラルに取り組む企業に技術支援を行うと共に、自らも太陽光発電エネルギー比率を高める事で持続可能な運営を図る」										
SDGs達成に向けた特徴的な活動	弊社は1999年にISO14001環境マネジメントシステムを認証取得後、2003年にはISO17025試験所認定をRoHS分野で取得するなど社会の環境保全事業に深く取り組んで来た。2023年度よりACL版SDGs宣言を行い、各種のクライアントに対しては、あらゆる有害廃棄物の削減事業を継続的に支援している他、インハウスでは冷却系分析機器において循環水装置の稼働比率を上げる事で排水の削減や電子式納品を高めペーパーレス化を図っている。さらには、太陽光発電など再生可能エネルギーへの変換率を高めることでカーボンニュートラルを維持したラボ事業の運営を図っている。									
宣言日から3年間の成果指標（定量的な目標）	循環水設備の100%設置目標による排水削減。ペーパーレス化の一環として電子納品提出割合を50%以上とする。太陽光パネル設置により電気使用量の削減。									
業種	その他 その他:専門技術サービス業									
事業所数（本社が提出する場合のみ）	3 社									
従業員（構成員）数	55 名 （うち外国人 0 名）									
所在地	〒 111-0034 東京都台東区雷門2-4-9 明祐ビル2F									
U R L	https://www.analysis.co.jp									